## ICT実践レポート

## 作成者【揖斐川中学校】氏名【河瀬江里】

	作成有【揖芠川中子校】氏名【河溉江里】 
学年	第2学年
教材	第4章「平行と合同」
活用した。	• GeoMathRoom 2年生
ソフト・アプリ	・ロイロノート・スクール
活用した	・生徒一人一台タブレット(Windows)
ICT 機器	
活用の実態	【実践1 多角形の外角の和が何度になるか見通しをもつ】
	・GeoMathRoom を授業の導入時で活用。頂点の
	数や角の大きさを自由に変えることで、多
	角形の外角の和がいつでも 360° になる見
	通しをもつことができた。
	C 89,40 D
	【実践2 ロイロノートを使った全体交流】
	・本時の課題はプリントを配布。
	・∠χの大きさの求め方を、各自プリントに記入後写真を撮り、ロイロノ ―トに提出。
	・画面共有にすることで、自由に仲間の考えを見ることができる。仲間のノ
	一トを見ることで、自分にはない考え方に触れることができた。
	・それぞれがタブレットを見ながら発表を聞いたことで、板書の時間短縮に
	もつながった。また、指し示したい部分を画面に書きながら説明をした。
	e A
	60° 40° 60° A
	80°
	m 40 B 100°
	16° 40° 40° m
	B B
	○ X 図形の性質と補助線 / 画面配信
	● 人工
	60°
	109/28E 08-53 109/28E 08-53 109/28E 08-53 109/28E 08-53 109/28E 08-53 109/28E 08-54 109/28E 08-54 109/28E 08-54
	т 40°
	10月28日08-56 10月28日08-56 10月28日08-57 10月28-57
   生徒の反応	・自分の考えを記述できない生徒には、仲間のノート(各自のタブレット画)
土徒の火心	・自分の考えを記述できない主旋には、仲間のノート(各自のダブレット画     面)を見ることで、考えをもつことができるようになった。
	- ・実践2では、仲間の考えに触れたことで「新たな考え方がないかチャレン
	ジしたい」と、意欲的に取り組む生徒が増えた。
+F U \F U	
旅り返り 	
	<b>v</b> 'o
振り返り	・画面を見ながら発表するというのは、タブレット(ロイロノート)ならではだと考える。時間短縮にもつながり、今後も継続的に使用していきたい。 ・誰もが見やすく直接画面に書くのは、慣れが必要。積極的な活用を試みたい。